

<豊中市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・学校図書館専任職員（学校司書）の配置
- ・とよなかブックプラネット事業による支援
- ・「とよなか読書活動支援システム（蔵書管理・情報共有掲示板・授業活用データベース）」の運用
- ・学校、公共図書館、教育センター間の週二回の物流便の運行
- ・学校図書館支援ライブラリーにおける調べ学習サポートパックや教員用図書の貸出

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・市の教育研究会（市教研）学校図書館部会
各学校の取り組みの交流や情報交換を計画的に行っている。
- ・とよなかブックプラネット事業推進委員会
学校図書館と公共図書館の連携強化を図る。

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・学校図書館利用指導（オリエンテーション）
- ・読書活動支援（読み聞かせ、ブックトーク等）
- ・図書館資料の利用指導
- ・調べ学習等の授業支援と関連資料の提供
- ・教員向け資料の案内と提供
- ・読書週間などの計画・運営・支援

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・H25年4月より蔵書管理を電算化。
全小中各校と公共図書館がオンラインで繋がり相互貸借可能。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・読書振興課が学校図書館教育の支援として、学校図書館システムの管理や市全体の図書館教育に関する行事や研修を実施
- ・図書館の達人
- ・読書活動フォーラム（作家さんを招いて）

<池田市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・各校1名の専任司書の配置（市費アルバイト）
- ・勤務時間内における研修会参加への配慮
- ・市立図書館との連携
（団体貸し出し、年間10回の研修会）
（視覚障害者用図書等の学校への貸し出し）
マルチメディア DAISY 図書・点字図書等
- ・市内通送便の運行

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・池田市教育研究会（市立小・中学校教員が参加）
図書部会で各学校の年間計画や情報交換を行っている。図書館司書の参加も可能

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・学校図書館のオリエンテーション
- ・調べ学習等の授業支援と関連資料の提供
- ・読書週間やボランティア団体（おはなし飛行船など）の読み聞かせを設定し、本に関する興味関心を高めている。
- ・図書館だよりの発行
- ・学校図書館司書による読み聞かせ
ブックトーク等

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・図書台帳のコンピュータ化を更に進めている。
市教育センターによる図書館システムに移行作業中であるが、市立図書館を含め蔵書のPC検索・貸し出しが可能になってきた。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・図書館システムによる市内学校図書館と公共図書館の蔵書情報の共有と相互貸借が可能。
- ・それぞれの学園の小・中学校の図書館で、交流の一環として、互いの図書館を紹介するポスターや図書館だよりの掲示等を行っている。

<箕面市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて
 - ・学校図書館司書は小中学校とも全校配置
2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について
 - ・教職員自主研究組織である**箕面市教育研究会**の「**学校図書館部会**」に各校の司書教諭、図書館教育担当者、学校図書館司書が入り、月1回部会を開催している。
今年度の研究テーマは「調べ学習を中心とした授業展開、研究授業の実践」である
 - ・学校図書館司書は、毎月「司書連絡会」で交流や研修を実施している
 - ・学校図書館司書は、2か月に1回「司書連携会議」で市立図書館司書と交流や研修を実施している。
3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例
 - ・学校図書館のオリエンテーション
 - ・読書活動支援（朝の読書、読み聞かせ、ブックトークなど）
 - ・調べ学習などの授業支援と関連資料の提供
 - ・教員向け資料の案内と提供
 - ・読書週間などの計画・運営
 - ・『**箕面・世界子どもの本アカデミー賞**』の取組
4. 各学校図書館の蔵書管理方法について
 - ・コンピュータ管理
5. 学校図書館に関して、特徴的なこと
 - ・市内の全小中学校図書館間で、相互貸借及び、資料提供が充実している。
 - ・市立図書館との連携により配本サービスが充実している。

<豊能町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて
 - ・豊能町内小中学校に学校司書1名（町費）を配置（勤務時間内における研修会参加への配慮あり）
 - ・町立図書館との連携
2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について
 - ・**学校図書館協議会**
第1回 活動計画、各校の交流
読書感想文コンクールについて
第2回 研修①「読書感想文の書き方」
第3回 研修②「町立図書館見学・本のソムリエ審査会参加」
第4回 読書感想文の審査会（府・町）
第5回 研修③「和綴じ製本作り」
第6回 総括・交流
・平成30年度から、**学校図書館司書会**を開催
3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例
 - ・学校図書館司書との連携
 - ・読書の日の推進活動
 - ・朝の読書活動
 - ・読書指導
 - ・委員会活動（図書イベントなど）
 - ・各学年や教科との連携（本の紹介・読み聞かせ、調べ学習、ビブリオバトル、ブックウォーク、うちどく など）
 - ・地域読み聞かせグループとの連携
4. 各学校図書館の蔵書管理方法について
 - ・貸し出しカードによる把握
5. 学校図書館に関して、特徴的なこと
《本年度の主な特徴的な活動》
 - ・うちどく推進
 - ・本のソムリエ認定講習会（小中学生対象）
 - ・「とよのまつり」でのソムリエ認定者による利き本紹介
・各校の読書推進ポスターを製作し、公共施設に掲示
 - ・オーサービジット事業（光風台小）
 - ・「おととえ座」による影絵上映会（東能勢中）

<能勢町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・小中合同の学校図書室に学校司書の配置
(8:00~16:30)
勤務時間内の研修への参加の配慮あり
- ・能勢町生涯学習センター図書室との連携

3. 各市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・朝の読書 ・読書指導 ・調べ学習
- ・図書の時間 小1~4年生…毎週、
小5~6年生…隔週
中学生…学期に1~2回
- ・「図書の時間」に学校司書が読み聞かせや朗読、ブックトークを行う
- ・国語単元と並行した読書活動や新聞作り、POP作り
- ・学級文庫として各クラスに長期貸出
小学生…クラス人数分
中学生…20~30冊
- ・図書室だより「ふむふむ」
小中へそれぞれ月1回発行、HPでの公開
- ・新着図書案内「読め〜る」
小中へそれぞれその都度発行、HPでの公開
- ・図書委員会活動(小学校・中学校とも)での本の紹介、ポスター掲示、しおり配布 等
- ・「たくさん読んだで賞」の表彰
- ・親子貸出(うちどく貸出)実施

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・コンピュータ管理による貸出・返却・予約

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・H28年4月に小・中学校連携で開校したことに伴い、図書室も「情報・学習センター」として、小中合同で開館
- ・地域の読み聞かせグループ「声の宅配便」との連携(学期に一度のお話を小学校全クラスで行っている。)
- ・町の生涯学習センター図書室の出前貸出
=らくだ図書館(毎月第2金曜日)

- ・学校にない本は、町にあれば児童・生徒が学校で借りることができ、学校で返却できる。
(週1回の通送便あり)
- ・学校にない本で、町にないが府内図書館にあれば、町を通して相互貸借で借りうけ、児童・生徒に提供できる(ただし貸出日数に制限有り)。
- ・放課後アフタースクールや、長期休みの子どもの居場所づくり事業等で学校図書室を利用したり、町の司書の講座に参加する時間がある。
- ・学校HPにWeb本棚設置。いつでもどこでも学校の新着図書が閲覧できるように整備。